

## 被災した空き家や倉庫への早期対応は



浜田 孝男 議員

平成29年10月の台風21号災害による、空き家や倉庫への被災は地域住民の生命・身体・財産の保護に深刻な影響を及ぼし、一刻も早い対応が待たれるが、考えは。

### 池田町長

総務課では近隣の住民からの情報をもとに現地を確認し、必要があれば所有者の調査及び通知文の発送をしている。

土木課では、町道沿いであれば空き家の周辺に危険周知を図る看板を設置し、通行者の安全確保を行って

いる。

また、国道沿いであれば、総務課から佐川国道維持出張所にコーン設置の対応を要望し、対応したこともある。

空き家の管理は所有者が原則。今後の対応も基本的には現状どおり対応する。

### 波川公園「わくわく館」跡地利用は

#### 浜田議員

波川公園を管理する上で「にっこにこ館」と共に中心的な役割を担ってきた「わくわく館」が、撤去された。今後の跡地利用の計画は。

また、「にっこにこ館」や「トイレ」を含めた一体の整備を行わないか。



撤去された「わくわく館」

#### 岡村管財契約課長

「わくわく館」は老朽化や平成29年10月の台風による被災もあり、このまま使用を継続するには危険という判断で、利用者らの安全確保のため所有者の国土交通省が解体した。跡地は、テナントのレンタル契約を計画している。

同じ敷地内に併設している「にっこにこ館」と「トイレ」は、町所有の施設であり、今後、施設の活用方法や維持管理・改修も含め、時代に合った施設となるよう、地域とも協議する。

### 加田堤防の用地買収・補償・工事の状況・今後の計画は

#### 浜田議員

加田堤防は、地区の浸水被害を軽減するために多くの関係者の理解・協力をいただき、国土交通省により平成21年着手。堤防工事は、奥谷川樋門と共に平成25年から平成27年に施工されたが、ここ2年間は何も目に見える動きはなくなった。状況と今後の計画は。

#### 水田土木課長

加田地区は、仁淀川筋では堤防がない数少ない状況だったので、事業費を集中的に投じている。

用地取得状況は、平成30年3月現在で、相続問題で2件、共有地問題で1件用地取得が残っている。

今後は、暫定の堤防を完成堤とするため、相続問題の2件の用地取得が急務。権利者と

協議を進め、解決の方法を検討していく。  
共有地は、138筆が関係し、その土地所有は共有者数60人。

共有地もほぼ相続が発生し、確認が取れている相続者数は約600人にのぼり、解決に非常に時間を要することが想定される。平成29年より、地区や藪の組合などの代表者などとの協議を開始し、解決の方法を検討している。

今後も、すでに用地取得が完了している箇所は堤防工事推進を継続して要望していく。



構築された暫定堤防